

※校内補足：21 世紀型リーダーシップとは？

ジェームズ・クーゼスとバリー・ポズナーによる 30 年以上にわたる膨大な調査と分析で示された「リーダーシップ論」をもとに、現早稲田大学教授の日向野幹也氏により開発された高校生・大学（院）生・若手ビジネスパーソン向けの「権限によらない、後天的に開発可能なリーダーシップ」。大学時代に学んだ学生たちがこれを広めるために㈱イノベストを創設し、高校・大学での授業提供を行っている。変化の速い現代社会においては、従来型のリーダーシップの発揮では致命的な結果になりやすく、ニーズがかなり高まっている。学び始めは高校時代が最も適していると言われている（共通のプロジェクトがたくさんあること、自分を客観視できる年齢になっていること等の理由より）